

輝く光の宝石箱

2010 夜景観光元年

動き出した夜景観光

室蘭夜景を新たな観光資源にしようとする取り組みが進んでいる。昨年12月には夜景をはじめとする観光資源の魅力発信に向けて、市・観光協会・商工会議所が「室蘭観光推進連絡会議」を発足。バスガイド向けの夜景勉強会や、市内各所で夜景移動写真展などを行った。

これらの取り組みが新聞やテレビなどで紹介され、室蘭夜景が全国的に広まる中、民間事業者の動きにもつながっていった。

郵便局(株)北海道支社では、同会議の協力を得て、胆振管内の郵便局などで室蘭夜景をテーマにしたご当地フレーム切手を期間限定販売。購入希望者が多く、急ぎよ増刷するほどの人気だった。市外からの観光客に人気なのが、夜景スポットを巡る夜景バスツアー。大手旅行代理店や市内バス会社で実施され、好評を得ている。また、港町室蘭ならではの楽しみ方をさせてくれるのが、今年5月から始まった室蘭夜景ナイトクルージング。普段は見られない海上からの眺めは、室蘭夜景の新たな魅力を伝えてくれる。

昨年9月の本紙での特集以来、注目を集めている室蘭夜景。観光資源として活用する動きが活発になっている。ほかでは見られない室蘭夜景の魅力とは一。

夜景ナイトクルージング。
写真はJ×日鉱日石エネルギー(株)室蘭製油所付近



郵便局(株)北海道支社が販売したご当地フレーム切手



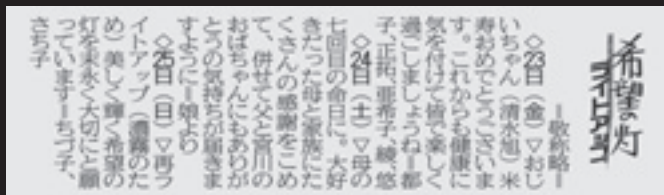
市内バス会社で実施した夜景バスツアー

「思い」が創る光

測量山に立ち並ぶテレビ塔。昭和63年から市民団体「室蘭ルネッサンス」が市民や企業からの寄付金でライトアップを続けている。

1回4千円の寄付金と、思いをつづったメッセージを寄せると一夜分の明かりになる仕組み。メッセージは週2回地元紙に掲載される。市民の思いは絶えることなく積み重なり、平成20年1月に連続点灯7千日を達成。

毎夜輝く光の柱には、明かりをつけている一人ひとりの「思い」が託され続けてきた歴史がある。そして今年10月、その「思い」は連続点灯8千日となって、まちを照らす。



地元紙掲載メッセージを抜粋
問い合わせは室蘭ルネッサンス事務局 ☎23-6600

「願い」が創る光

室蘭港を取り巻く工場の明かり。これはライトアップのために照らしているものではない。その一つの明かりは工場で働く作業員の安全を守るための保安灯。安全を願い、24時間灯され続けている。その光は「ものづくりのまち室蘭」を象徴する工場夜景として室蘭の夜を輝かせている。



夜景ナイトクルージングに乗船した
笹畑さんご夫妻（札幌市）に
感想を聞いてみました。

海上から眺める迫力の夜景

テレビや雑誌で、室蘭の夜景やカレージャーメンを知り遊びに来ました。室蘭の夜景は結構知られていますね。

陸から見ると違って、海からだとならぬ特徴ある地形がはつきりと分かりました。もちろん夜景はともきれいで、間近で見る白鳥大橋や工場群は迫力がありました。これは船だからこそ見られる室蘭ならではの景色ですね。

私たちがクルージングしたときは少し霧が出ていましたが、霧の中に光が浮かび上がり、幻想的な雰囲気でした。今度は是非、晴れた日にも乗ってみたいですね。知人も誘って来たいと思います。



笹畑 秀輝さん
真樹子さん

「見せる」から「魅せる」へ

夜景が観光資源として活用され始め、夜景観賞の観光客が訪れるようになった。今年は、室蘭の夜景観光元年といえる。

その一方で、ただ「見せる」だけでは一過性のブームで終わってしまう。神戸や長崎、函館のように、まちの名前から夜景が連想されるようになるには、「魅せる」だけではなく「魅せる」ことが必要だ。

室蘭の夜景の魅力は「思い」や「願い」を込めた「人の心が創る光」。室蘭ならではの「オンリーワン」のこの光を私たち一人ひとりが誇りに思い、大切にしていけることが、より室蘭夜景の魅力を引き立て、輝かせていくのではないだろうか。

市民一人ひとりが 夜景の素晴らしさをPR

室蘭観光推進連絡会議

事務局 仲嶋 憲一さん



室蘭夜景がこれほどまでに反響があるのは、正直、期待以上でした。市や観光推進連絡会議で取り組んできたことが少しずつ実を結んできているのだと思います。

今後、連絡会議としては、10月に東京都で開催される日本夜景サミットに参加し、工場夜景の先進地である川崎市などとも協力して、工場夜景をPRしていきたいと考えています。また、市内での取り組みとして、旅行会社向けのモニターツアーを開催します。

室蘭夜景はすでに一人歩きし始めています。これからは官民が一体となって、この夜景を後押ししていくことが必要ですね。

市民だれもが「室蘭の夜景は素晴らしい」と自信を持って、PRしてもらえるよう、これからも新しい夜景の魅力を発掘し、皆さんに伝えていきたいです。

市のホームページには 夜景の情報が満載



市内の夜景がきれいに見える展望台などを紹介する夜景スポットマップを掲載しています。ほかにもフォトギャラリーには夜景の写真をたくさん掲載しています。絵はがきやパンフレットなどに是非ご利用ください。

夜景スポットマップ

(http://www.city.muroran.lg.jp/main/org6400/documents/yakeimap_1.pdf)

フォトギャラリー

(<http://www.city.muroran.lg.jp/main/org1400/photogallery.html>)

旅行に来ていた葛西さん(札幌市)と石井さん(美唄市)に室蘭夜景の感想を聞いてみました。



葛西 未来さん(右)
石井 舞子さん(左)

測量山は別世界への入口

テレビで見た測量山のライトアップがとてもきれいだったので、ぜひ行ってみたいと思っていました。室蘭夜景が最近ブームになっているのは知っていましたが、測量山からの眺めは今回が初めてです。

室蘭の夜景は、工場の明かりが独特で、札幌の藻岩山や函館の函館山から見る夜景とは全く違う印象ですね。明かりの中に工場の煙が漂っていて、別の世界にきた感覚になります。

展望台までの階段にフットライトが点灯していたのも良かったです。少し急でしたが、足元が明るかったので安心して上れました。フットライトの青い光もとても良い雰囲気を出していますね。友人にもこの夜景を勧めたいと思います。



展望台までの階段を照らすフットライト。LEDで環境にも配慮

大型バスも駐車できる駐車場を整備(唐松平)

